



島田NPO法人「こころ」

ある人たちの居場所をつくるようと、約五十人のスタッフが支援に当たっている。

精神障害者らが利用する地域活動支援センター「ハートケアセンター」や、就労支援事業所「こむぎ」など島田市と牧之原市の計六カ所の施設を運営している。ハートケアセンター「こころ」では、利用する障害者二十人が昼食作りをしたり仲間と雑談したり思い思いに楽しんでいた。

設立は二〇〇四年。統合失調症やうつ病などの

精神障害者は、障害の実情をよく知らない人たちから偏見を持たれてしまっている。

菅原小夜子施設長は「だから、障害者であることを肯定的に捉えてしまう人もいる」と指摘する。

「こころ」最近、力を入れて活動しているのが「ピアサポート」だ。同じような経験をした者同士が、経験者から聞き取り、安心感や自信を得ていく活動だ。「なないろの会」と名付け、六月から毎月一回、ハートケアセンター「こころ」

偏見なくし居場所を

るに集まり、思っていることを話し合っている。

話すことはさまざま。

「熊本地震の被害に遭った熊本の障害者は大変だろう。自分には何ができるか」「相模原市の障害者施設殺傷事件で、容疑者が入院経験がある。精神障害者への偏見が助長されてしまう」など。精神保健福祉士でもある菅原施設長ら職員もともに考え合っていく。出席者たちは仲間がいることで「お互いさまで、持ちつ持たれつといういい関係」「もっと活動を広げたい」と前向きになっている。

菅原施設長は「地域住

民も、障害者を特別扱い「ればいい」と話す。それするのではなく、地域で偏見をなくすための近と暮らす住民として、道の「つた」と考えている。当たり前前に接してもらえ。 (池田知之)



ピアサポート活動に取り組む菅原施設長(後列右)ら一島田市島で